

成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進

背景

産業・社会構造の変化やグローバル化等が進む中で、かつてない空洞化の危機を克服するとともに、国際競争力の強化など我が国経済社会の一層の発展を期すためには、経済発展の先導役となる産業分野等への人材移動を円滑に進めるとともに、それらの人材が有する専門技術を高めていくことが必要不可欠。

各成長分野における取組を先導する産学官コンソーシアムを組織化し、
中核的専門人材養成のための新たな学習システムの実証等を通じた基盤を確立



「新成長戦略」(平成22年6月18日 閣議決定)

- ・ 主な職業分野に関する教育プログラムの開発 他

「日本再生のための戦略に向けて」(平成23年8月5日 閣議決定)

- ・ 成長を支える人材の育成・確保のため、産業界と連携し、民間教育訓練機関の創意工夫を活用した実践的な職業訓練や実践キャリア・アップ戦略の推進、ジョブ・カード制度の活用などを図る 等

「知的財産推進計画2011」(平成23年6月3日 知的財産戦略本部決定)

- ・ (クールジャパン戦略)グローバルに通用する人材基盤形成強化において、専門学校等における実践的な職業能力を育成する学習システムを構築

「新たな情報通信技術戦略」(平成23年8月3日 推進戦略本部決定)

- ・ 大学・高等専門学校及び専修学校の情報通信技術に関する教育に対する支援

■ 産学官コンソーシアムによる取組の推進

➤ 各産学官コンソーシアムにおいて、今後の課題・方向性等の検討・とりまとめや、各分野の学習システム構築のためのプロジェクトを評価

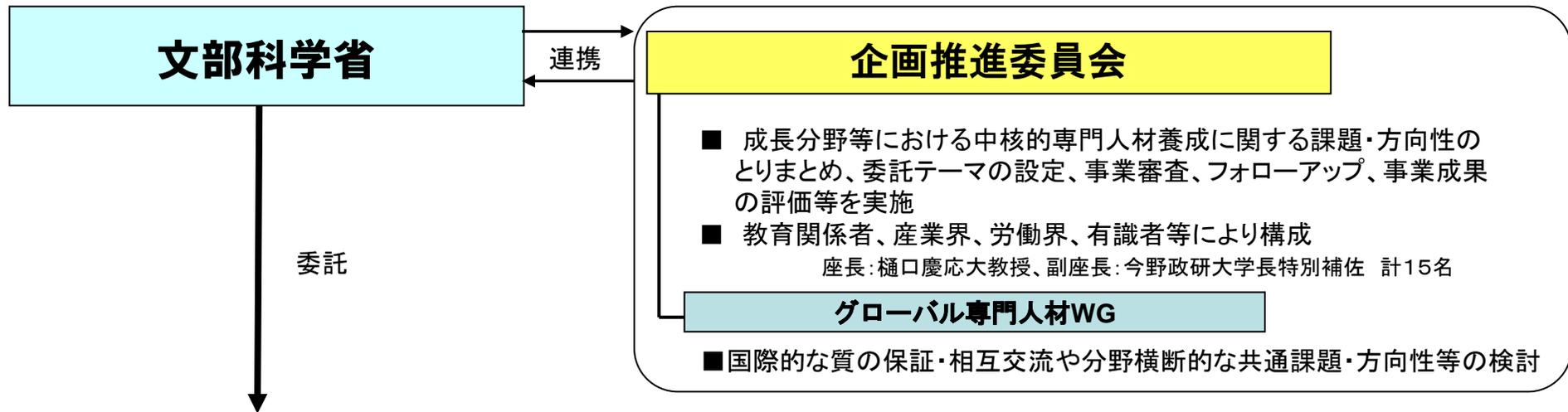
- 成長分野における中核的専門人材の取組を先導する産学官連携体制の整備
- 各分野における専門的・実践的な教育の質の向上・保証のための取組の課題・方向性をとりまとめ
- 社会人等の実践的な職業能力を育成する効果的な学習システムの評価
- グローバル化に対応した専門的・実践的な教育の相互交流等のあり方をとりまとめ、国際的に活躍する中核的専門人材養成に活用

■ 各分野におけるプロジェクトの実証

➤ 各分野ごとのプロジェクトにおいて、モデル・カリキュラム基準や達成度評価指標の開発・実証、第3者による専門的・実践的な評価等の実施

平成24年度成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進体制

- 各成長分野における取組を先導する産学官コンソーシアムを組織化し、中核的専門人材養成のための新たな学習システムの基盤のあり方について検討、推進する体制として、①企画推進委員会、②各分野の産学官コンソーシアムを設置



平成24年度 各分野の産学官コンソーシアム(9分野12コンソーシアム)

各分野で必要とされる人材像や知識・技術・技能体系の明確化、モデル・カリキュラム基準の策定、達成度評価・第三者評価の仕組み等を具体的に提示

環境・エネルギー	食・農林水産	医療・福祉・健康	クリエイティブ	観光	IT	社会基盤整備	経営基盤強化	グローバル
(職域プロジェクト) ・建築・土木 ・電気・電子 ・情報・通信 等	(職域プロジェクト) ・食の6次産業化プロデューサー ・アグリビジネス人材 ・フードビジネス人材 等	(職域プロジェクト) ・介護・看護関係 ・スポーツ指導者 等	(職域プロジェクト) ・ファッションクリエイター ・ファッションビジネス ・グローバルビジネス ・美容 ・アニメ・漫画 等	(職域プロジェクト) ・観光産業人材 ・ニューツーリズム (旅行、宿泊、輸送等)	(職域プロジェクト) ・クラウド ・ゲーム・CG ・携帯電話・スマートフォン ・自動車組み込み ・情報セキュリティ 等	(職域プロジェクト) ・次世代インフラ ・パッケージインフラ (建築・土木 等)	(職域プロジェクト) ・国際会計基準 ・税法・税務 等	(職域プロジェクト) ・専門的な語学力、コミュニケーション能力 ・主体性・積極性 ・異文化理解 等

■ 産学官コンソーシアム実施体制(9分野12コンソーシアム)

- ・産学官コンソーシアムは、当該成長分野の推進機関として中核的専門人材養成に関する取組を行うもの(県域を越えた大学、短期大学、専修学校、高専、高校等の連携による職業教育の仕組みづくり等の活動をするなど、広域的な組織とする)
- ・必要に応じて、職種別や各種テーマごとの下部組織等を設置

■ 各分野の職域ごとのプロジェクトを実証(38プロジェクト)